



銀杏《愛校 自主自律》

～生徒一人一人が主役を果たす、「生徒が育つ学校」の創造～

宮内中学校 学校だより

宮中生徒会の充実した活動を振り返る“生徒会中間総括会”

あっという間に2学期も締めくくりの時期を迎えました。宮中生徒会の活動も、そのスローガン通りの“進”の姿をみせ、日常活動においても行事においても、目覚ましい活躍と成長が強く感じられました。その上で、完成の3学期を目前に迎えた今、3年生としてやるべきことや後輩に伝えるべきことは、まだ、残っています。そこで、昨年から「生徒会総会」を「生徒会中間総括会」と名称と内容の質を変え、全校生一人一人が自ら進んで今後につなげるための話し合い活動へと進化させています。残念ながら、12月6日(金)当日は、会議のため宮中生の輝く時間を共にすることができませんでしたが、教頭先生や多くの先生方から、「とても充実し、全員が主体的に参加したとても良い会議であった」という評価を伺いました。心身ともに大きく成長した証にもなりました。



さすが、宮中生!!
来年につながる素晴らしい会でした!



NAFのロゴマークができあがりました

3の1 安彦花音さんと 2の1 鈴木初音さん 考案のロゴを合作しました

宮内の象徴である いちじょうの葉がNを描くように流れ、中央には青空を

イメージして「NAF」の文字がデザインされています

“NAF”のロゴマークが生まれました!!

本校のボランティア有志で組織されている“NAF”。今年度、産声を上げたばかりでしたが、学校内だけではなく、地域にも飛び出してさまざまな活動を展開し、日々成長を遂げています。

その活動の更なる発展の一つとして、3年安彦花音さんと2年鈴木初音さんが、いちじょうの葉をモチーフにこのマークを考案してくれました。これから“NAF”の活動充実とともに、このマークが地域の方々にも親しまれていけばいいなあと感じています。ありがとうございました!!

生徒会活動を中心に、大活躍する宮中生!!

学習にも、部活動にも、生徒会活動にも、全力で一生涯懸命に取り組める宮中生は、本当に私たちの宝です。日々の様々な学びを生かし、それを自分なりに表現してきたことが多方面で評価されています。その上で、生徒会活動においても、新たな企画の発案と行動力によって、新たな学校文化を創造する力が高まり、その成長は、本当に素晴らしいと感じています。

学習委員会主催 “はい！ High！ 2千！運動” で学ぶ意欲を高めました！！

授業にも、日々落ち着いて取り組んでいます。学力向上のより高みを目指し、高橋心菜学習委員長が中心となり、標記の運動を行いました。単に競い合うことを目的とするのではない、それ以上の成果が見られたことが、各クラスの反省からも伺えます。宮中生の良さの一つは、みんなで授業するとき、簡単にあきらめずみんなで頑張ることができることです。第2弾、第3弾・・・が楽しみです。

学習委員会 も発言に集中し

1年1組	1585回
1年2組	8626回
2年1組	5249回
2年2組	2605回
3年1組	6187回
3年2組	3769回
3年3組	4687回

① ロッカーと机を常に片付ける
② 持ち物の整理をしっかりと行う
③ 机の隙や椅子の上のカバンを隠さずばらばらにしない
④ 静かな教室の時はクラス委員の机の上がきれいになっている

はい！ High！ 2千！

学習委員会

この取り組みからこれからも発言、学習を積極的にを行い、授業に集中して取り組んでいきましょう！
学習委員長より

1年1組では、普段より拳手が増え、全員が真面目に授業を受けた。

1年2組は、一人一人が声をあげて出したこと、良かったです。

2年1組では、授業に真剣に取り組む、拳手発言が増えたことで、積極性が高まりました。

2年2組では、拳手をやる人が増え、クラス全体が明るくなりました。

1年1組	1585回
1年2組	8626回
2年1組	5249回
2年2組	2605回
3年1組	6187回
3年2組	3769回
3年3組	4687回

3年1組では、拳手をやる回数が増え、みんなが頑張りました。

3年2組では、拳手をやる回数が増え、みんなが頑張りました。

3年3組では、拳手をやる回数が増え、みんなが頑張りました。

保体委員会主催 “全校クラスマッチ” でも、全校生が盛り上がる！！

文武両道の宮中生。学習ばかりが学校生活ではありません。限られた時間を有効に活用し、生徒会保体委員会が知恵を絞りながら、全校生が一堂に会して心から盛り上がる事ができる全校クラスマッチを企画してくれました。渡沢陸保体委員長のリードのもと、「8の字とび」で、心地よい汗とともに絆を深める時間を過ごしました。さすが3年生！特に3年3組の皆さんは、最上級生の意地を見事に発揮してくれました。

【校長の独り言・・・】

先日、今年の流行語大賞が発表されました。皆さんご存じの通り、『不適切にもほどがある』というテレビドラマの略称、『ふてほど』でした。ちやうど、このドラマが放映されていた時期、特に放映日は、職員室内で昭和の話で盛り上がるのが度々ありました。偶然、私も折笠教頭先生も教務主任の田中先生も養護教諭の大友先生も、昭和の近い年代で、しかも米沢で生まれ育ってきたことから、「それ、あったあった！」と古き良き昭和の米沢時代を懐かしあうのが、毎日の朝の会のようになっています。

当時は、雪が今よりも多く、平屋のお家は屋根から雪を降ろすのではなく、屋根より高く積もったところに雪をさらに上げなければならなかった(我が家がそうでした)こと、いわゆる「街(今の太町あたり?)」には、ファミリーデパート・ジャスコ・大沼デパートが立ち並び、アーケード街は人であふれかえっていたこと、ばあちゃんの家に行くとき、甘いお菓子やしょっぱい漬物を手のひらにのせられ、お茶と一緒にごちそうになったことなど、「あ、そんなこともあったなあ・・・。」という気持ちに浸っています。

まもなくお正月。慌ただしい毎日が続きますが、ゆったりと昔話に花が咲く時間も大事にしたいものです。